

平成30年度実施施策に係る政策評価書

別紙2

(環境省30-29)

施策名	目標6-1 環境リスクの評価					
施策の概要	化学物質による人の健康や生態系に対する環境リスクを体系的に評価					
達成すべき目標	①一般環境中の化学物質の残留状況を調査し、基礎資料として施策の策定に活用する。 ②化学物質の環境リスク初期評価調査を実施し、環境を経由した化学物質による影響の未然防止を図る。 ③化学物質の内分泌かく乱作用について調査研究を実施し、各化学物質が人の健康や生態系に及ぼす影響について明らかにし、リスク評価を実施する。 ④子どもの健康と環境に関する全国調査を実施し、次世代育成に係る健やかな環境の実現を図る。					
施策の予算額・執行額等	区分	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況(百万円)	当初予算(a)	5,061	5,065	5,631	6,581
	補正予算(b)	1,302	866	-	-	
	繰越し等(c)	-	-	-	-	
	合計(a+b+c)	6,363	5,931	-	-	
執行額(百万円)	6,075	5,839	-	-		
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)						

測定指標	①化学物質環境実態調査を行った物質・媒体数	基準値	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	○
		-	88	77	94	89	97	80	
		年度ごとの目標値	80	80	80	80	80		
	②環境リスク初期評価実施物質数	基準値	実績値					目標値	達成
		16年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	○
		-	18	22	15	12	17	14	
		年度ごとの目標値	14	14	14	12	14		
	③内分泌かく乱作用に関して、文献等を踏まえ評価対象として選定した物質数(累積)	基準値	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	○
		-	114	132	155	175	184	200	
		年度ごとの目標値	80	100	120	140	160		
	④子どもの健康と環境に関する全国調査の進捗状況	基準	施策の進捗状況(実績)					目標	達成
		年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	44年度	○
		-	追跡調査の実施及び詳細調査、化学分析の開始	追跡調査、詳細調査及び化学分析の実施	参加者追跡率(97%)	参加者追跡率(96%)	参加者追跡率(96%)	全国10万人のデータ解析を行い、健康と環境の関連性を明らかにする。	
		年度ごとの目標	-	-	参加者のフォローアップ及び化学分析の進捗	参加者のフォローアップ及び化学分析の進捗	参加者に調査を継続いただくための取組及び化学分析の進捗		

評価結果	(各行政機関共通区分) 目標達成
	(判断根拠) ①化学物質環境実態調査では、平成30年度に97物質・媒体について調査を実施したことをはじめ、直近5年間の実績値(平均値)が目標値を上回っている。 ②環境リスク初期評価のための基礎情報の収集・検討作業を推進し、17物質について環境リスク初期評価を取りまとめ、公表し、目標を達成した。 ③化学物質の内分泌かく乱作用については、文献調査等を踏まえた評価対象物質の選定数について、平成28年6月に「化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応—EXTEND2016—」(EXTEND2016)で設定した目標を達成した。 ④フォローアップ状況を示す指標である追跡率を高値で維持できており、また、化学物質の分析も進捗しており、目標を達成した。

未	施策の分析	
	次期目標等への反映の方向性	

学識経験を有する者の知見の活用	<p>①化学物質環境実態調査については、中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会において専門的な検討をいただいているところ。</p> <p>②環境リスク初期評価に関しては、中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会において専門的な検討をいただいているところ。</p> <p>③化学物質の内分泌かく乱作用に関する検討会において専門的な検討をいただいているところ。</p> <p>④エコチル調査企画評価委員会等において、本調査の企画、実施内容の評価及び本調査の成果を国際貢献につなげるための国際連携の方向性等について、検討を行っていただき、今後の調査実施に反映している。</p>
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<p>①平成30年度化学物質環境実態調査の進捗状況(中央環境審議会環境保健部会化学物質評価専門委員会(第24回)資料2-3)</p> <p>②化学物質の環境リスク評価(第17巻)</p> <p>③「化学物質の内分泌かく乱作用に関する今後の対応-EXTEND2016」に基づく取組について(中央環境審議会環境保健部会(第39回)資料6)</p> <p>④参加者ステータス集計表(コアセンター作成)、エコチル調査の進捗状況(平成30年度第1回エコチル調査企画評価委員会資料3)</p>
---------------------------	--

担当部局名	環境保健部 環境安全課 環境リスク評価室	作成責任者名 (※記入は任意)	環境安全課長 瀬川 恵子 環境リスク評価 室長 山本 英紀	政策評価実施時期	令和元年6月
-------	----------------------------	--------------------	--	----------	--------